

■一般目標 (GIO)

人工歯排列までの全部床義歯技工学の理論および製作の技工術式を基に、蠟義歯を仕上げる。全部床義歯完成までの各工程について、さらに理論と技工操作の知識および技術の向上を目指し、安定した咬合関係の再現、発音および審美性の回復を図り、無歯顎患者の健康増進に寄与する全部床義歯の製作法について学ぶ。

■到達目標 (SBOs)

- ・両側性平衡咬合の咬合様式について目的・意義を理解することができる。
- ・上顎法で行う排列法の術式を修得することができる。
- ・義歯の維持安定、咀嚼および発音機能を向上させることを目的に、歯肉形成の術式を修得することができる。
- ・蠟義歯のフラスコ内への埋没操作と、その注意点を修得することができる。

■教科書：最新歯科技工士教本 有床義歯技工学（医歯薬出版）

■参考資料：プリント配付

■授業時間：木曜日 18:50～21:15

■オフィスアワー：市川 裕美 (ichikawa.hiromi@nihon-u.ac.jp) 木曜日・17:00～17:45

■成績評価：実習製作物を評価（100%）し、フィードバックを行う。

■注意事項：定められた工程で検印を受け先に進める。検印のない製作物は評価しないので注意すること。

■授業方法：模型を用いた技工作業を実習形式で行う。

■準備学習：実習内容に関連する項目を事前に教科書で確認しておくこと。

■準備学習時間：必要な時間（1時間程度）を充てて予習を行うこと。

■実務経験：市川 裕美：歯科技工士としての臨床経験をもとに、他教科も含めた口腔内全体の機能と補綴装置の関わりを考慮した補綴装置の製作方法をわかりやすく丁寧に教えていく。

■関連教科：有床義歯技工学（全部床義歯技工学）（1年）

■予定表：

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
第1回4月8日 市川 裕美 高宮 英紀 梅沢 岳司	1. 歯肉形成（1） 1) 上顎唇，頬側部	・口腔内を参考に形成することにより，義歯の維持安定，咀嚼および発音機能を向上させることを理解することができる。 ・義歯の維持安定，咀嚼および発音機能を向上させることを目的に，歯肉形成の術式を修得することができる。
第2回4月15日 市川 裕美 他	1. 歯肉形成（2） 2) 下顎唇，頬側部	・義歯の維持安定，咀嚼および発音機能を向上させることを目的に，歯肉形成の術式を修得することができる。
第3回4月22日 市川 裕美 他	1. 歯肉形成（3） 3) 上顎口蓋部歯肉形成 4) 下顎舌側部歯肉形成	・義歯の維持安定，咀嚼および発音機能を向上させることを目的に，歯肉形成の術式を修得することができる。 ・歯頸部の位置およびS字状隆起の重要性を理解し，形成法の術式を修得することができる。 ・歯頸部の位置および舌側部の凹面形態の重要性を理解し，形成の術式を修得することができる。 ・上下顎の歯肉形成の細部を点検し，蠟義歯を完成させることができる。
第4回5月6日 市川 裕美	1. 歯肉形成（4） 3) 上顎口蓋部歯肉形成	・義歯の維持安定，咀嚼および発音機能を向上させることを目的に，歯肉形成の術式を修得する

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
他	4) 下顎舌側部歯肉形成 蠟義歯の完成・提出	<ul style="list-style-type: none"> • ことができる。 • 歯頸部の位置およびS字状隆起の重要性を理解し、形成法の術式を修得することができる。 • 歯頸部の位置および舌側部の凹面形態の重要性を理解し、形成の術式を修得することができる。 • 上下顎の歯肉形成の細部を点検し、蠟義歯を完成させることができる。 • 蠟義歯の歯肉形成を評価することができる。
第5回 5月13日 市川 裕美 他	2. 義歯製作 1) 咬合床圧接	<ul style="list-style-type: none"> • 既成の咬合堤を用い咬合器に装着する方法を理解することができる。
第6回 5月20日 市川 裕美 他	3. 人工歯排列 (1) 1) 上顎前歯部 2) 下顎前歯部	<ul style="list-style-type: none"> • 全部床義歯の維持安定および審美性を考慮した排列方法を理解することができる。特に、前歯部は審美性および発音等を考慮した排列方法を理解することができる。 • 両側性平衡咬合の咬合様式について目的・意義を理解することができる。 • 上顎法で行う排列法の術式を修得することができる。 • 前歯部の排列の基準、歯軸の傾斜に注意した、審美的な排列法を修得することができる。 • 下顎前歯部の排列は、発音機能および両側性平衡咬合を付与するため、垂直被蓋と水平被蓋を与える排列法を修得することができる。
第7回 5月27日 市川 裕美 他	7. 人工歯排列 (2) 3) 上顎臼歯部 4) 上顎人工歯排列の修正	<ul style="list-style-type: none"> • 上顎法で行う排列法の術式を修得することができる。 • 前歯部の排列の基準、歯軸の傾斜に注意した、審美的な排列法を修得することができる。 • 臼歯部の排列は歯槽頂間線を考慮し、調節彎曲を付与した排列法を修得することができる。 • 歯列、傾斜および調節彎曲に留意し、上顎人工歯排列の修正方法を修得することができる。
第8回 6月3日 市川 裕美 他	7. 人工歯排列 (3) 5) 下顎臼歯部	<ul style="list-style-type: none"> • 下顎臼歯部の排列は、上下の咬合が1歯対2歯の関係で、両側性平衡咬合の様式に基づき全部床義歯の安定を考慮した排列の術式を修得する。
第9回 6月10日 市川 裕美 他	7. 人工歯排列 (5) 6) 人工歯排列の修正 人工歯排列の完成	<ul style="list-style-type: none"> • 上下排列終了後、中心咬合位、偏心位における平衡咬合や審美性、発音などの機能に配慮した排列全体を修正する術式を理解することができる。
第10回 6月17日 市川 裕美 他	1. 歯肉形成 (1) 1) 上顎唇、頬側部	<ul style="list-style-type: none"> • 口腔内を参考に形成することにより、義歯の維持安定、咀嚼および発音機能を向上させることを理解することができる。 • 義歯の維持安定、咀嚼および発音機能を向上させることを目的に、歯肉形成の術式を修得することができる。
第11回 6月24日 市川 裕美 他	1. 歯肉形成 (2) 2) 下顎唇、頬側部	<ul style="list-style-type: none"> • 義歯の維持安定、咀嚼および発音機能を向上させることを目的に、歯肉形成の術式を修得することができる。
第12回 7月1日	1. 歯肉形成 (3)	<ul style="list-style-type: none"> • 義歯の維持安定、咀嚼および発音機能を向上さ

授業日・担当者	講義項目	学修到達目標
市川 裕美 他	3)上顎口蓋部歯肉形成 4)下顎舌側部歯肉形成	<p>せることを目的に、歯肉形成の術式を修得することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯頸部の位置およびS字状隆起の重要性を理解し、形成法の術式を修得することができる。 ・歯頸部の位置および舌側部の凹面形態の重要性を理解し、形成の術式を修得することができる。 ・上下顎の歯肉形成の細部を点検し、蠟義歯を完成させることができる。
第13回7月8日 市川 裕美 他	<p>1. 歯肉形成(4) 3)上顎口蓋部歯肉形成 4)下顎舌側部歯肉形成</p> <p>蠟義歯の完成・提出</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・義歯の維持安定、咀嚼および発音機能を向上させることを目的に、歯肉形成の術式を修得することができる。 ・歯頸部の位置およびS字状隆起の重要性を理解し、形成法の術式を修得することができる。 ・歯頸部の位置および舌側部の凹面形態の重要性を理解し、形成の術式を修得することができる。 ・上下顎の歯肉形成の細部を点検し、蠟義歯を完成させることができる。 ・蠟義歯の歯肉形成を評価することができる。
第14回7月15日 市川 裕美 他	3. 蠟義歯の埋没(1)	<ul style="list-style-type: none"> ・蠟義歯の埋没、流蠟および重合の目的および操作を理解することができる。 ・義歯床用レジンの種類、組成および取り扱いについて理解することができる。 ・重合方式の種類および注意点について理解することができる。 ・アメリカ法によるフラスクへの埋没方法を修得することができる。
第15回7月29日 市川 裕美 他	3. 蠟義歯の埋没(2)	<ul style="list-style-type: none"> ・蠟義歯の埋没、流蠟および重合の目的および操作を理解することができる。 ・義歯床用レジンの種類、組成および取り扱いについて理解することができる。 ・重合方式の種類および注意点について理解することができる。 ・アメリカ法によるフラスクへの埋没方法を修得することができる。